

白瀬中尉の偉業を称えて

～ 2013白瀬・南極フェア～

6月8日、南極公園を主会場に2013白瀬・南極フェアが開催され3,000人の来場者が訪れました。

フェアでは、白瀬南極探検隊記念館の無料開放やフリーマーケットのほか、白瀬南極探検隊の偉業を深く知ってもらうことを目的とした「白瀬ミニ検定」が行われ、市内の小学生22人が受験しました。検定終了後、成績優秀者に賞品が手渡されると満足げな表情を浮かべていました。

午後1時から行われたステージの部では、金浦神楽や仁賀保太鼓、ダンスなど市内7つの団体が日ごろの練習成果を披露しました。

午後6時から行われた海上自衛隊東京音楽隊による演奏会では、クラシックや人気アニメの主題歌など計14曲が演奏され、その迫力のある音色に拍手が起こりました。演奏会終了後には、日本一短い花火と銘打った花火大会が行われ、打ち上げ発数は少ないながらも美しい花火に、観客は引き込まれ、郷土の偉人に思いを馳せました。



息のあったパフォーマンスで会場を魅了



抜群の演奏力を持つ海上自衛隊東京音楽隊



思いやりの気持ちを大切に

～ 人権の花運動～

6月10日、協力や感謝することの大切さを学び、やさしい思いやりの心を育むことを目的とした「人権の花運動」が象潟小学校で行われ、4年生から6年生までの生徒185人が参加しました。

人権擁護委員の方からプランターへの花の植え方を教わると、児童らは一人ひとりに割り当てられたプランターにニチニチソウ4株を一花一花丁寧に植えていました。植え終えたプランターを校舎の玄関前などに並べ終わると、ずっときれいな花が咲き続けるよう、互いに協力して毎日水やりを行うことなどが確認されました。



花が折れないようにやさしく植えました

自分一人で悩まないで！

～ 予防講座：デートDV～

6月14日、仁賀保高校でデートDVの予防講座が行われ、あきたFF推進委員鈴木トシ子氏による「人と人とのよりよい関係をつくるために」と題した講演に、2年生141人が参加しました。

講演では、デートDVを知ってもらうため、生徒による対話劇で交際相手との3つの事例を対話劇で紹介。その後7、8人のグループに分かれ、お互いを大切にするコミュニケーションのあり方を考えました。最後に鈴木氏は「必ず助けてくれる人がいます。自分一人で悩まないでください」と生徒らに強く語りかけました。



お互いを大切にするコミュニケーションを考える



スピード感あるプレーを随所で披露

今季初、聖地にかほで開催

～ JFL第17節 ^{ブラウブリッツ} BB秋田 VS FC琉球～

6月23日、仁賀保グリーンフィールドで、日本フットボールリーグの第17節・BB秋田対FC琉球が行われました。今季は芝養生のため、これまで当フィールドでの試合は開催されておらず、17節にして待ちに待った初ゲームとなりました。関係者らが「聖地」と呼ぶここにかほに、約1,500人のBBファンが詰めかけ、熱い声援を送りました。

試合に先駆け会場を盛り上げてくれたのは本市出身の歌手「三浦サリー」。新曲「BLUE SKY」を初披露し会場を魅了しました。この曲はBB秋田の新応援ソングとなり、今後多くの機会に披露されるようです。

試合はケガ人が多くいる中、今季加入で秋田出身の元Jリーガー熊林選手を中心に短いパスを繋ぐ華麗なサッカーを展開します。前半19分の先制ゴール、そして追加点と、優位に後半を迎えます。しかし、相手は1つ上の順位で元日本代表も擁するチーム。結局、疲れの見え始めた終盤に2点を追いつかれ2-2の同点で試合終了となり、詰めかけたファンらは、終了間際まで勝っていたために落胆の色を隠せない様子でした。

次の仁賀保グリーンフィールドでの開催は8月3日(土)です。相手は福島ユナイテッドFC。会場での応援をよろしくお願いします。



▲背番号16番、三好選手の先制ヘディングシュート



▶新曲「BLUE SKY」を初披露してくれた三浦サリー。この曲はBB秋田の新応援ソングとして今後親しまれていくことでしょう。